高校野球　愛知大会　結果　本校２－４新城東

平成 28 年７月 14 日（木）　阿久比球場で新城東高校と対戦し、２－４で破れました。加古君は４回以降は無失点に抑える好投、７回には１点を返し、９回には西君の左越え３塁打で２点差まで迫りましたが、あと一歩及びませんでした。暑い中、応援にみえました保護者の皆様、本当に有り難うございました。

◇阿久比

大府東	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
新城東	1	2	1	0	0	0	0	0	×	4

下の新聞記事にあるように、キャプテンの西君は、「出し切ったという思いはあります。」と話し、また、１塁へのヘッドスライディングで、安打をもぎ取った大野君は、「負けても悔いない。仲間に支えてもらった最高の３年間でした。」と試合後のインタビューで語りました。力を出しきって得たこの達成感は、勝敗を超えた価値のある、そして次なる目標に向かう原動力となるに違いありません。引退する３年生５名も、新チームのメンバーも次なる目標に向けて一歩を踏み出してください。

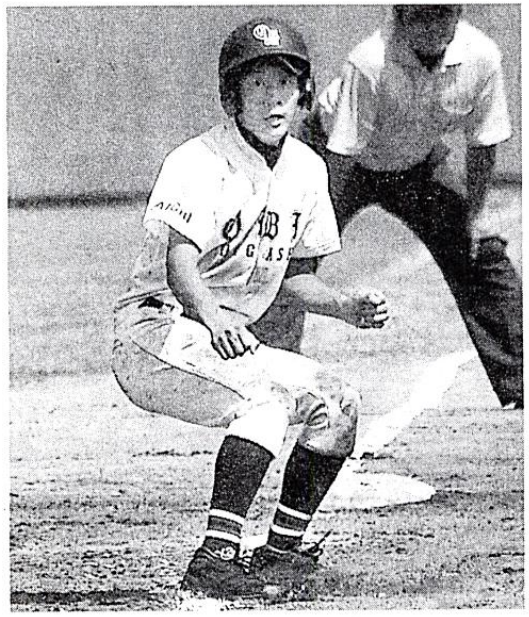
鼻にボール…でも気迫の一打

大府東の西君

二回の大府東の守備。中堅手の西洸太朗主将（３年）は、右中間への打球を必死に追った。右翼手の姿が視界に入った瞬間、ボールが鼻にまともに当たった。担架で運びだされ、試合は一時中断に。上向きに寝かされて鼻を冷やす間、西君は「早く戻りたい。チームに迷惑をかけたくない」と思っていたという。約10分後、笑顔でグラウンドに戻るとスタンドから拍手が送られた。

試合終盤に意地を見せる。３点を追う九回１死一塁の打席で、内角低めの直球を振り抜くと、打球は左翼後方へ抜ける適時三塁打に。主将自ら反撃ののろしを上げ、同点の走者も出たが、本塁を踏むことはできなかった。試合後、「出し切ったという思いはあります」とすがすがしい笑顔で話した。

＝阿久比



【大府東】		打	安	点
[中]	西	4	2	1
[右]	伊藤誠	4	1	0
[遊]	二大嶋	3	0	0
打	梅本	1	0	0
[左]	伊藤榛	5	0	0
[投]	加古	3	1	0
[一]	佐藤	1	0	0
打	一大野	1	1	0
[三]	今井	4	1	0
[捕]	近藤	3	1	0
[二]	松本	2	0	0
打	遊平松	2	0	0
振	球犠併残	…	…	…
8	6 1 0	11	3	3 1

平成 28 年７月 15 日
朝日新聞

Copyright (C) 2016 Aichi Prefectural Obu Higashi Senior High School All Rights Reserved